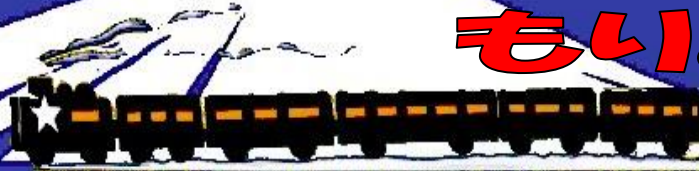




The Y's MEN's CLUB of

★
もりおか



<VOL127.2018.9>

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Moon Sang Bong (韓国)	「私達は変えられる」
アジア地域会長	田中 博之 (日本)	「アクション」
東日本区理事	宮内 友弥 (武蔵野多摩)	「為せば、成る」
北東部長	涌澤 博 (仙台青葉城)	「チャンス到来、我ら北東部から世界へ」
もりおかクラブ会長	三田 庸平	「繋がりを大事に、見据える世界の扉」
		副題「ワイズの明るい未来を見つけましょう！」

今月の聖句 詩編36編11節

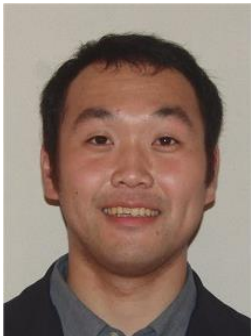
 「あなたを知る人の上に慈しみが常にありますように。心のまっすぐな人の上に恵みの御業が常にありますように。」

会長	三田 庸平
副会長	長岡 正彦
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	浅沼 慧 (しどう)
	中村 渉 (チャン)

10月定例会のご案内

日時	平成30年10月13日 (第2土曜日) 18時30分
場所	ジャーラン ジャーラン 2,000円
	通常の定例会です。
第二例会	10月19日 (第3金曜日) 18時30分
場所	天神町薬局控室

三田会長巻頭挨拶



三田会長

はじめに自然災害により被害に遭われた方々の早い復興をお祈りしております。さて、秋になり寒い日々を過ごしていますが、寒さが到来するのが早くなって思っております。最近の例会では参加者が多く、充実した例会になっている事が嬉しく思います。

さて盛岡 YMCA チャリティーラン

が秋晴れの中、行われました。去年に引き続き多くの皆様のお力添えもあり、大成功でした。実行委員長である井上メンをはじめ、準備をたくさんして来た YMCA の皆さんに感謝いたします。また、30日には盛岡 YMCA のチャリティーバザーが行われますが、ワイズメンバーも元気に参加する予定です。活動をし成功する喜びを実感できることって、嬉しいなって実感しています。ワイズのメンバーも YMCA の活動に協力し、皆さんのパワーを吸収できたらと思っています。

北東部会でも話はいしましたが、会員増強を目標に頑張りたいです。そして、アジア大会の参加者を盛岡からも多くの人数が

参加できたらと思っています。

最後になりますが、仙台クラブ70周年おめでとうございます。もりおかクラブも年をかさねて大きくなれたらと実感いたしました。

9月定例会の報告

平成30年9月8日(金) ジャーラン・ジャーランにて開催、三田、山口、井上、井上優子、大関、及川、中原陽子、魚住、千葉、根内、根内直美、村上、長岡、浅沼(敬称略)。ゲスト、菊地望さん(さそり)、安垣史織さん(レモン)以上16名の参加で開催されました。

9月に入りワイズの活動が活発になってきました。各担当からこれまでの活動の報告や、今後の活動予定などの盛りだくさんの報告がなされました。盛岡YMCAからは、夏の各種キャンプの報告がすべて成功裡におわった事、打ち上げをにぎやかに行ったことなどが報告され、今月行うチャリティーランへの協力依頼向中野学童で行われるバザーへの協力、ユース委員会主催の中高生キャンプへの協力、クラブの行事として、北東部会への参加要請等が報告されました。三田会長の会長職も板に付いてきたような気がします。YMCAの子である三田会長はもりおかクラブの中で一番会長に似合っているきがします。三田会長のお



ここに贈呈

になります。このような年の取り方をしたいものだとつくづく思う次第であります。

会員の近況報告

大関メン: 今年は7月に14日間の真夏日があり、耐えきれずエアコンを買いました、しかし据え付け完了が8月29日でした。エアコンのありがたさを実感できず、夏がおわりました。来年はさぞ涼しく夏を過ごせると思います。

井上優子メネット: お盆に孫が2人遊びに来ました。岩山の遊園地に行きました、天気が良く展望台で両手をめいっぱい広げた孫の写真をとって満足していました。遊園地で一日過ごし、真っ黒に日焼けしました。充実したお盆を過ごしました。

根内メン: いろんな役目をこなしていき、全国幼児教育研究会の理事をしております。全国大会が盛岡で開催されるという事で実行委員会に出席したり、短大の同窓会、幼稚園の運動会、面倒な事務処理、目が回りそうですが、おととい小田和正のコンサートに行ってきました。リフレッシュできました。

安垣史織さん(レモン): 岩手大学2年人社の安垣史織リーダー一名はレモンと申します。9月5、6日で福島スタディツアーに参加しました。原発事故の影響で双葉町、大熊町では車で通過は出来ませんが降りてはいけないう規制があったり、除染土の袋が山積みで、震災から7年経ったとはいえ、まだ7年しか経っていない事に気づかされました。

長岡メン: 水曜日の晩に退職記念で貰った宿泊券を利用して四季亭という旅館(つなぎ温泉)に行ってきました。食事は超一流、おもてなしのサービスも超一流、十分に「お客さま」の立場を満喫してまいりました。いい気分を味わいました。

及川メン: 8月4日、日本キリスト者医科連盟の総会と東南アジアエクステンジプログラムで160人集結し、私の役割は津波をくぐり抜けて気仙語の聖書をどのように受け止めるか、山浦玄嗣の紹介役を行い、東日本大震災の援助に対してお礼を言いました。ギリシャ語から気仙語に直訳するときの文法で、「求めよさらば、与えられん」という言葉で、求め続けなさいという意味が隠されているという、意味合いを理解しないとイケません。久しぶりに国際交流をしてきました。

三田会長: 薬局を創立して8年で初めて社員旅行を行いました。ディズニーランドです。初体験の社員たちは十分楽しめたようです。タレントのユッキーナと握手しました。薬局の薬剤師さんを見つけるのがいまだ大変ですが、頑張っています。

井上メン: 仕事もクラブも教会も忙しく動き回っています、そんな中久しぶりに名古屋の友人と夏油高原でゴルフを堪能しました。仕事も大事、遊びも大事、何をやるにも体が第一。充実した

かげで、もりおかYMC Aとの絆もますます太く編みあがっていく事を期待します。今晚、及川メンが参加した事により、いい緊張感が漂いました。及川メンは即興でいろいろお話をしてくださるので、いい刺激

毎日を送っています。

魚住メン: 10月12日、盛岡ファミリー相談室を開催します。離婚後親が離れて暮らす環境の子供をもう一人の親に合わせる、療育費用の相談などを行います。今日は会議が有り、同窓会が有り、余った時間で映画をみたらお隣の席に井上ご夫妻がいました。「ヒトラーを欺いた黄色い星」という映画で、本当の愛国心とはなにか、考えさせられる映画でした。

山口メン: 久しぶりに家族全員そろったので、三戸城に行ってきました。山城で天守閣も再建され景色が美しいお城です。昔の資料が展示されている資料館で軍服が展示されていました。明治の軍服は大変立派でしたが、時代が進むにつれ太平洋戦争の頃は随分ひどい軍服になっていきました。帰りは、にんにくの里、田子(たっこ)で餃子をいっぱい食べてきました。

菊地望さん(さそり): 岩手大学人社4年の菊地と言います。リーダー一名は、さそりです。中高生キャンプのミーティングで参加してくれる子供たちを思いながら自身わくわくしています。いいキャンプにしたいです。就職が決まり、内定式があります。「オリンパス」に決まりました。

村上ウイメン: 髪の毛が変身しました。今年度でクラブの在籍を息子に渡すつもりでしたが、娘夫婦がポストンに転勤になってしまいました。激震が我が家に走り、気分転換で髪を染めました。孫は、おばあちゃんは尊敬して言うことは何でも聴いてきたけど、大馬鹿だと解ったのもうおばあちゃんのいう事は聴きませんと宣言されてしまいました。さらに落ち込んでしまいました。



中原陽子メネット: 8月の終わりに帰宅途中でした。学校の生徒が警察官に囲まれ、ママチャリが倒れていてテッシュの箱が落ちていました。現場で生徒を頭ごなしに叱りつけたら、実は当て逃げの被害者を擁護していたとの事で、逆に警察官になだめられました。この後、テストで平常点の要求をしてきました。どしよっかなあ〜。

千葉メン: 今回の北海道自身で停電した仕組みは東日本大震災の時と同じ仕組みでした。停電の影響の大きさを再確認しています。電気は大事です、大切に使いましょう。

浅沼メン: 長男と次男の運動会が明日に順延になりました。長男はがっかりして大荒れでした。先生からのお手紙では、長男はリレーを頑張る、次男は玉入れを頑張る、8個入れるのが目標、来月の例会で8個入ったか報告します。



9月定例会集合写真

村上さん、私はあなたが好きです。金髪もなかなかいいですよ。もりおかクラブの雰囲気がかつても良くなりました。長岡

第22回北東部大会開催

仙台ワイズメンズクラブ70周年記念祝会開催

9月22日仙台、ガーデンシティ仙台びて開催されました。もりおかクラブからは、三田会長、井上メン、井上優子メネット、濱塚メン、長岡メンの5名が参加してきました。東日本区各地から70名の参加でした。2019年のアジア大会を仙台で開催されるのを前に、大いに盛り上がりました。三田会長の誇らしげなバナーセレモニーの入場が印象的でした。まあ、北東部のバナーをまじかで見られて、なかなかでの良いバナーだとも思いました。

北東部の歌を歌った後、部の歌があるのは北東部だけだと知り、大好きな北東部の歌が誇らしげに思えて、ますます大好きになりました。行進曲の北東部の歌は、元気がわいてきます。まだ知らないメンバーのために、毎月の例会でうたうのもいいかもしれません。

基調講演は、仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク「東北ヘルプ」事務局長 川上直哉氏。「福島と東北キリシタン」と題してお話いただきました。歴史や史跡をたどりながら、先人たちの苦労などをユーモアを交えてのお話に聞きました。また盛岡YMCAのユースリーダーとの福島をめぐる旅を終えて、交流人口を増やし目指すは「福島YMCA」です。放射能と戦いながらも力強く歩み続ける福島県、福島を応援していきましょう。

仙台クラブは発足70周年を迎えました。とてつもない歴史です。70周年を祝う記念例会が行われました。列席の東日本区役員の方々も大いに驚きと感動の祝辞をいただきました。仙台ワイズメンズクラブの皆さま、おめでとうございます。これからも一緒に歩み続けましょう。

第22回 北東部 部大会 仙台クラブ 70周年記念祝会



井上親子、仙台と盛岡、チャリラン実行委員長



三田会長堂々の入場



もりおかから出席の5名です。

「ズリテン盛岡DAON」

もりおかクラブの状況報告

9月の出席率	12/14	85 %	ゲスト2名	ビジター0名	メネット3名			
メーキャップ	1	名		9月切手	10 g	累計	308 g	
9月のにこにこ	21,000	円	累計	40,500 円	9月プルタブ	115 g	累計	22,350 g
9月 石鹸	1,610	円	累計	1,610 円	りんご	0 円	累計	円
9月 献金		円			ファンド合計	34,410 円		

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

9月のハッピーバースディ 9月20日 根内 直美様 誕生日おめでとうございます。

第2回盛岡YMCAチャリティラン開催

9月23日、岩手県立大学特設コースにて開催。大成功でした。



号砲一発、競技開始です。

昨年の第1回の開催は相当な苦労の上に開催しました。今年はノウハウを基に、順調に準備が進み、この日本番を迎えました。おめでとうございます。今年は言葉はいりません。



みんなとビリケン司会です

暑いね、でもがんばったよ！



チームみんなでゴールだ～ いいよ～



ゴール前は感動がいっぱい



やった～完走～



ゴール後、喜びが爆発！



仲間になる瞬間、われらYMCA



井上実行委員長



しろくま、チャリメイク



J3、グルージャ盛岡の選手と一緒に

東日本大震災アーカイブス、2014年3月掲載 「風の電話」で、思いを伝えたい。



佐々木格さん。

「亡くなった大切な人に思いが伝えられるように。」と、電話線が繋がっていない電話ボックス「風の電話」というものがあります。岩手県大槌町浪板の浪板海岸が眺望できる高台にあります。設置したのは佐々木格さん。震災前から設置していた風の電話。「震災で突然の別れを強いられた被災者の心の助けにな

ってほしい。」と改めて庭木を手入れして、ボックスを整備しました。ボックスの中には黒いダイヤル式の古めかしい電話があります。受話器を持ち上げても、当然、何の音も聞こえないのですが。「聞こえないと思ったら、本当に何も聞こえないんです。でも、じっと耳をすませると何かが聞こえてきますよ」。ボックスには1冊のノートがおいてあり、訪れた方が思いを書き込んでいま



す。「早く帰っておいで、まっていますよ。」「今日で区切りをつけるね、おとうさん、見守っていてください。」物理的にはどこにも繋がってなくても、大切な家族には確かに繋がります。だって、亡くなった方は、記憶をしている家族の中で家族がいなくなるまで生き続けるのですから。息子に思いを届ける、配偶者に最後の別れを告げる、「風の電話」は生きている人たちが明日を生きるために力を貸しています。

いろんな報道を見聞きしたボランティアが、さらに支援の輪を広げて力を貸してくれました、自然に囲まれた環境を「子どもたち

のために生かそう」と、図書館の開館に思いが至ったそうです。もともとギャラリーにしようと、庭の一角に石を積み上げていたコテージを図書館にすることに決めたのです。ボランティアたちと一緒に急ピッチで作業がはじまりました。大槌町浪板に石造りの小さな図書館の完成です。花の香りにつつまれ、鳥の声に耳をすませながら本を読んでほしい。2階建て約40平方メートルの建物はすべて手作りで。開館後、全国から「図書館に置いてほしい」と本が送られ、蔵書は約4千冊。1階には写真集や画集、新書、文庫本がそろい、談話用のテーブルが置かれ、2階は絵本や児童書が中心です。子どもたちが好きな姿勢で読めるようにカーペットを敷き、ソファを置きました。地元の幼稚園児たちが訪れて森の中での先生の読み聞かせに耳を傾け、親子がカーペットに座って一緒に絵本を読む。学校の先生たちが「話し合いの場所に使わせてほしい」と訪れることもあります。「石造りの土壁の建物に、心が落ち着くようです」と感想をいただいております。

佐々木さんの視線は常に子どもたちに向けられています。甚大な被害を受けた東北の復興の鍵を握るのは、子どもたちです。「明るい将来を作るのは子どもたちの感性。震災を経験した子どもたちは、きっと逞しく育つ。日本を支える子どもたちを、東北から送り出したい」。佐々木さんの信念や思いは YMCA と共通している、今回「風の電話」を通して感じました。



図書館の外観



内部です。

編集後記

一カ月が経つのがとても速く感じます。今月もう終わろうとしています。ブリテンの発行に大忙しです。盛岡探索を企画以来

初めてのお休みです。エネルギーを貯めて来月からまた盛岡の魅力を探掘してご紹介していきますのでご容赦ください。なにはともあれ、9月号のブリテン編集終了します。 長岡